

平成26年1月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成26年1月24日(金) 14時00分～15時30分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、吉岡委員、宮原委員、横山委員、國弘委員、佐々木委員、岩城委員(教育長)

4 欠席委員

なし

5 事務局

小川教育部長、中谷教育部次長、西村参事、楳本教育総務課長、田中教育施設管理課長、松田学校教育課長、上村社会教育課長、山根文化財保護課長、安光スカウトジャンボリー支援室長、小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

(報告事項)

○報告第1号「懲戒処分について」

(概要)

懲戒処分について、事務局から報告があった。

1. 内容

人事に関する案件であり、非公開とする。

○報告第2号「全国学力・学習状況調査への参加について」

(概要)

全国学力・学習状況調査への参加について、事務局から報告があった。

1. 内容

小学6年生、中学3年生を対象として、平成26年4月22日に実施される全国学力・学習状況調査には、市内の全小中学校が参加する。

(主な意見や質疑)

なし

○報告第3号「平成26年山口市成人式の参加状況について」

(概要)

平成26年山口市成人式の参加状況について、事務局から報告があった。

1. 開催日
平成26年1月12日
2. 場所
山口市会館
3. 内容
出席者1,451人、出席率64.2%

(主な意見や質疑)

質問： 式典会場にはどのくらいの人が入ったか。

回答： 1,000人程度である。

○報告第4号「社会教育委員会議の協議内容について」

(概要)

社会教育委員会議の協議内容について、事務局から報告があった。

1. 内容
提言書の構成についての協議をもとに、今後、4名の協議委員により原案を作成し、それに他の委員からの意見による修正等も加えながら、提言書の作成を進めていく。

(主な意見や質疑)

意見： 社会教育をより一層充実させていくためにも、人材の育成については、提言から落とすことのないようにしていただきたい。

○報告第5号「天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画の策定について」

(概要)

天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画の策定について、事務局から報告があった。

1. 内容
河川工事等に伴う生息環境の破壊等からゲンジボタルを適切に保護するために、ゲンジボタルの生息状況、周辺環境などを勘案の上、重要度に応じて指定範囲をA～Dの4つに区域分けし、各区域における保護のための方針を設定した。

(主な意見や質疑)

質問： B区域の一の坂川には大雨で崩れているところもあるが、改修等はできないのか。

回答： 災害となったときには、現状をみて、軽微な変更が可能であれば、改修等もできる。

質問： 外来種の生物によるゲンジボタルへの被害はあるか。

回答： 大学の先生が川で調査をされているが、いまのところ、その影響はない。

○報告第6号「平成25年度学力定着状況確認問題の結果について」

(概要)

平成25年度学力定着状況確認問題の結果について、事務局から報告があった。

1. 内容

10月30日に実施された学力定着状況確認問題の結果については、問題ごとに県の平均正答率と比較・分析しながら、それぞれの学校の課題を明らかにすることで、今後の学力向上と授業改善に向けた取組についての指導に活用していく。

(主な意見や質疑)

質問： 各学校で採点されるのか、県で採点されるのか。

回答： 採点基準をもとに、各学校で採点している。

質問： 学校別結果の公表について、県はどのような考え方を示しているか。

回答： 全国学力・学習状況調査も踏まえて、授業改善に役立ててほしいだけで、学校別結果の公表はすべきではないといっている。

意見： 学力定着状況確認問題結果の公表については、先生が自校の採点を行うことを踏まえて取り扱う必要がある。

(協議事項)

○協議第1号「いじめ防止基本方針の策定について」

(概要)

いじめ防止基本方針の策定について、事務局から提案があり、協議した。

1. 提案理由

いじめ防止等のための対策の基本となる「山口市いじめ防止基本方針」を策定するにあたり、本方針がより山口市の実情や特性に合った方針となるよう協議するため。

(主な意見や質疑)

意見： いじめ防止のための取組については、子ども自身がいじめ防止の主体という意識が持てるものを中心に、もう少し大きく位置づけて進めていただきたい。

意見： いじめ防止のための取組については、子どもたちの教育の日常活動に力を入れるべきであり、いま山口市が取り組んで、成果があがっているものをしっかり盛り込んで、山口市らしさを出してほしい。

意見： いじめ防止のための取組については、子どもたちを集めての子ども会議や、保護者に対してのいじめ問題の解決に向けた懇談会、命を考える日を設定した行事など、多岐にわたって、いろいろなものを盛り込んでいただきたい。

意見： いじめ対策チームについて、外部的な組織として構成されたチームを派遣する場合は、学校に組織を置いていることにはならないので、置き方そのものの問題も考えないといけない。